

山中だより

山中 してもら
キャッチ させられる人から
フレーズ する人へ

枚方市立山田中学校 学校通信 第24号

発行 令和2年1月22日 校長 交久瀬 善浩

◆◆1年生の川上星愛さん、北村千代さんの二人が、枚方警察署長から感謝状をいただきました。◆◆

昨年末12月21日、二人は校区の家電量販店の近くの交差点で赤信号で渡ろうとしていたご高齢の方を発見し、危険だと判断しすぐに声をかけて呼び止めました。そしてご高齢の方を気遣い、家まで送っていこうと名前や家を聞いたそうですが、ご高齢の方は名前も答えられず、住所も言えなかったそうです。

このままでは危険だと考え、二人は近くの店に向かい事情を説明して警察に通報してもらいました。警察の方が来られ確認したところ、そのご高齢の方には行方不明の届けが出されていたとのことでした。二人の行為と判断



は、ご高齢の方の命を救い、交通事故も防いだ大変貴重な行為として、枚方警察長から感謝状をいただきました。本当に素晴らしい行為だと思います。

◆◆自分の住む地域に、しっかりと目を向けよう！！そして、自分たちも未来を真剣に考えよう！！◆◆

昨日の生徒朝礼でも話をしましたが、これからあなた方が大人になっていく中で日本が直面する非常に大きな問題、それを2040年問題と言います。この問題は2040年に突然発生する問題ではなく、すでに発生している問題で、これから先20年間で最高潮に達する現在進行形の大きな日本の社会問題です。

この社会問題、実は少子高齢化が原因の問題なのですが、おそらく2040年を迎えた後、その後20年くらいは下火となりながら続いていく問題です。この少子高齢化の問題というのは、おそらく解決されることなく2040年を迎えることになると思います。「その時の社会をどう作っていけばよいのか??」があなた方に肩にのしかかってくる最大の課題なのです。これを考えていかないといけないのがみなさんなのだという話を昨日朝礼でしたわけです。



実はこの2040年問題の前に2025年問題というのがあります。（どちらの問題も、「2040年問題」「2025年問題」でともにネットで簡単に検索できますから、自分で調べてみてください。）2025年問題というのは、団塊の世代（1年間に生まれた人の人口が非常に多かった1947年～1949年生まれの方を指す言葉）の方々が75歳の後期高齢者を迎える頃におけるとされる問題です。この2025年問題では、医療費や年金等の増加で医療や介護の分野では大変大きな壁となります。今から6年後、生産者人口7000万人に対して65歳以上の高齢者人口が3500万人となります。一見すると7000万人で3500万人を支えるのだから2人で1人を支えればよいと考えるかもしれませんが、実はそうではなく、生産者人口は15歳以上65

歳未満の人口なので、実際には高校を卒業または大学を卒業まではアルバイトはしても実際に仕事をするわけではないので、生産者人口は実際にはもっと少ないのです。ですので、1.5人から1.8人くらいで支えていることになると思います。そこで問題となるのが医療費や年金等の増加と税金等の国の収入の減少です。すでに医療や介護の分野では大変大きな壁となっています。さらに子育てをする年代の方は、そこに自身の子どもを育てる費用が掛かるわけですから、本当に大変ということになります。そんな中で少子の問題を解決することなどできるわけがないのです。そして、高齢者の人口は休むことなく

増加していきます。医療が発達し、寿命が長くなっている分、余計に高齢化に拍車がかかっていきます。逆に生産者人口は、さらに加速的に減り続けます。

そして迎えるのが2040年問題です。この2040年には、先ほど書いた団塊の世代の方々の子どもたちが65歳に達する年です。この時には、生産者人口6000万人に対して高齢者人口が4000万人と推定されています。先ほども書いた通り、生産者人口は15歳以上で計算されているので、実際に仕事をする人口でいえばもっと少ない生産者人口となります。いろんな事情で働けない人などを換算すると、働き手1人で1人の高齢者を支えることとなるでしょう。子育てをする世代には、さらに自分の子育ての費用が掛かるので、働き手1人で1.3人くらいを支えることになるかもしれません。

このような状況の日本の社会をどう支えていくのか。どうすれば生活できるのか。どう日本という国の経済を成立させていくのか。これがみなさんにのしかかってくる課題です。そして、この問題の根本となる原因は、決して解決できない問題です。なので、これまでの常識を破壊する覚悟で社会の制度や仕組み、あり方等を大幅に変える必要があるのです。

あなたならどう解決しようと思いますか。この問題を解決するための答えはありません。しかし解くためのカギとなる点はあると思います。私が考えているカギとなる点は、以下のものです。

- ・人工知能
- ・医療制度の見直し
- ・税制度(消費税、所得税、法人税等)と税に使い方の配分の見直し
- ・外国人の受入れ制度見直し
- ・年金等の見直し
- ・子育て支援等の教育制度の見直し
- ・地域社会の在り方の見直し
- 等々。

このあたりがカギとなると思うのですが、本当にそうかはわかりません。カギの言葉を読んで、何かなんかわからんと思う人が多いと思います。現時点ですぐにわかる必要はありません。でもあと3年から5年で皆さんは18歳となり成人となります。選挙権も得ます。そのときまでに、これらの言葉の意味やどうしたらいいかを考え、選挙に臨む姿勢を築いていってほしいと思います。そして皆さん自身がこの大きな問題の解決に向けて自分にできることをしっかりと考え、その主体となって解決にあたってほしいと思います。答えはありません。その答えを皆さんが探すのです。



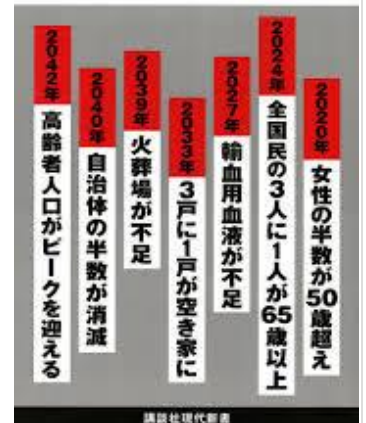
特にその中でも、「地域社会の在り方の見直し」にあたる場所は、皆さん自身が本気で行動しないといけないところだと思います。みなさんが社会に出るころには、住んでいる町には高齢の方がたくさんいらっしゃる状態です。認知症などを発症されている方もたくさんいらっしゃるでしょう。その地域社会を支えていくのは、税収が減って公務員が少なくなり、高齢者施設で働く人も人手不足で少なくなるので、そこ地域に住んでいる元気な人で助け合っていくしか方法のない状態になるでしょう。また外国からの人もたくさんいらっしゃるようになります。そのときに、今のような感覚で、誰かが何とかしてくれるだろう的な発想で自分は何もしないで文句を言ってるだけでは、地域社会は完全に崩壊します。そうならないためには、一人ひとりが、自分にできることは何かということをしっかりと考え、自ら進んで動く姿勢がもっとも重要なものとなります。

その意味において、今回の川上さんや北村さんの行為は、「自分にできることは何かということをしっかりと考え、自ら進んで動く姿勢」に直接つながるものとして、これからの時代を支えるみなさんには、無くてはならない大切な姿勢なのです。

山田中学校の生徒の皆さんは、来る時代に備え、地域社会の一員であるという自覚をしっかりと持って、自分の周りに住んでいる方々がどのような方かを知り、特に独居老人の方などに注意して、皆さんが暮らしやすい地域社会がどうあるべきか、自分に何ができるのか、自分はどの役立てるかを本気で考え、実行していってほしいと思います。期待しています。

未来の年表

人口減少日本でこれから起きること
河合雅司



★★3年生は明日から卒業テストです！！中学校最後のテスト、最後まで全力で取り組み！！★★